

新たに始まる制度・事業や、生活に身近な話題などをお知らせします

市長の深い話

深谷市長 小島 進

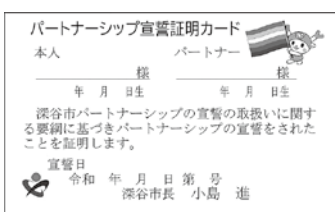
第2次深谷市総合計画 後期基本計画



昨年末に、今年4月から計画期間に入る『第2次総合計画後期基本計画』を策定しました。基本方針に『誰一人取り残さない みんながうれしい ふかや』を掲げており、これは、『あなたがうれしいだけじゃなくて、みんながうれしいのが一番なんだ』という、大河ドラマ『大を衝け』の中の、渋沢栄一翁の母のせりふにあやかりました。

この計画に掲げた、5つの主要プロジェクトなどの各種政策を着実に実施してまいります。このうち、主要プロジェクトのうち、5つをご紹介します。

「社会的に性の多様性への理解が深まること」が目標です。宣誓することができるかたや手続などについて詳しくは市ホームページで確認ください。



▲宣誓者に交付される証明カード



▲ホームページ

令和4年3月23日に制度を開始し、3組のかたが宣誓しています
深谷市パートナーシップ宣誓制度開始から1年
問い合わせ 人権政策課 ☎574-6643

ふかやでんき ぷっかちゃんでんき

低圧料金改定のご案内

昨今の世界的なエネルギー価格の高騰を背景として、燃料・卸電力市場価格の高騰によって、お客様にお届けする電力コストの高止まりが続いています。

ぷっかちゃんでんきでは、経営合理化などの経営努力だけではこの状況の克服が困難なことから、東京電力と同時期の6月より値上げを行います。なお、値上げ後の価格詳細については後日、ご案内します。

ぷっかちゃんでんきは今後も、安全・安心な電力の安定供給や地域経済の活性化を目指してまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

問い合わせ

ふかやeパワー(株)
☎048-578-8217
担当: 紺野



▲ホームページ

※『ぷっかちゃんでんき』は深谷市も出資する地域に根差した電力会社です。

国民年金保険料の『学生納付特例制度』
問い合わせ 熊谷年金事務所 ☎522-5012
保険年金課 ☎574-6641

学生納付特例制度を活用ください

学生の皆さんも、20歳になったら必ず国民年金に加入し、保険料を納めることが法律で義務付けられています。しかし、学生本人の収入が一定額以下ときには、申請により保険料の納付が猶予される『学生納付特例制度』があります。

対象 国民年金第1号被保険者で学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、専修学校などに在籍する学生

※本人の前年所得が128万円を超えるときは対象外(学生に扶養親族がいる場合、限度額を引き上げ)

対象期間 申請時点から2年1ヵ月前までの期間をさかのぼって申請できます(既に納付された期間を除く)

なお、申請期間に対応する前年所得に基づき審査を行います。**手続きに必要なもの** ①在学期間

のわかる在学証明書(原本)または学生証(画面をコピーしたものでも可) ②年金手帳または基礎年金番号通知書 ③本人確認書類

※代理人申請の場合、①・②のほか、代理人の本人確認書類(運転免許証など)が必要です(別世帯の代理人は、委任状も必要)。

申請は年度ごと必要です

申請が遅れると、障害年金や遺族年金が受けられなくなる場合もありますので、早めに申請してください。

※令和4年度に学生納付特例の承認を受け、令和5年度も在学予定のかたには、日本年金機構(年金事務所)から再申請用紙が送付されます。引き続き同じ学校の学生であれば必要事項を記入の上、返送してください。

令和5年度国民年金保険料

月額1万6520円

※保険料は納付期限までに、納めいただく。

ありがとうの手紙



最優秀

小学校低学年の部
大げやきへ

明戸小学校1年(現2年) 小林 羽檜 さん

おとうさんもおばあちゃんもそのまたおばあちゃんもきみのことをしていたよ。子どものころきみの下でおにごっこをしていたんだって。

雨の日もかぜの日もずっとずっとみんなをみまもりながら百五十年も立ちつづけていてほんとうにすごいし、ほんとうにありがとう。まだ一年生のほくだけど、きみのいる小学校にいけてうれしいな。きみみたいにつよくなれるようにがんばるね。

これからもずっとずっとあけと小学校、そして、あけと小学校のみんなをみまもってね。



最優秀

小学校高学年の部
何気ない毎日へ

川本南小学校6年(現中学1年) 長嶋 桃花 さん

毎日元気に楽しく学校に通えること、ご飯をおいしく食べられること、笑い合える友達がいること、ぐっすり眠れる場所があること……。

毎日生活する中で、当たり前に出ている事はたくさんあるけれど、そのどれか一つでも出来なくなった時に、そのありがたさに気づくのかも知れない。コロナウイルス感染拡大のピークも過ぎたように思えるけれど、まだまだ元通りの生活には戻っていない。気づきにくい、何気ない毎日の小さな幸せに、感謝したい。『ありがとう』